

「第30回トータルライフ医療学術集会」 開催にあたって

「第30回トータルライフ医療学術集会」実行委員長 池田啓浩

本日はお忙しい中、「第30回トータルライフ医療学術集会」に、ようこそ参加くださいました。皆様のご参加を心よりお待ちしております。1992年に始まったこの学術集会も、30回目の節目を迎えることとなりました。

今回の学術集会では「アフターコロナの時代を開く——人間を魂とみる医療」というテーマを掲げさせていただき、新しい医療の未来を切り開くその第一歩として参りたいと願っています。

昨年来の新型コロナ禍においては医療現場も大変な混乱を受けました。すさまじいパンデミックをおこした未知のウイルスに対し、これまでの医学的知見では全く歯が立たないという経験を我々はいたしました。またその渦中で顕わになったのは、人と人の絆の分断であり、様々な対立・混乱でした。まさに、医療の世界においても20世紀から続く均衡状態から、様々なものが不安定化する混成期に入った、と感じています。

そのような時だからこそ、私たちはアフターコロナの世界に向かって既存の物質至上主義的医療を脱却し、新しい医療を生み出してゆく黎明期を迎えたと言っても良いのではないのでしょうか。

その中であって、高橋佳子先生が提唱されるTL人間学（魂の学）を基とした、患者さんを1人の人間、魂と受けとめる医療の必要性は、これまでになく高まっていると思います。心と身体は不可分であり、密接につながり交流していると受けとめる医療実践は、これまでの医療の限界を突破する大きな鍵を握っていると確信しています。

今回、特別講演の講師として、森下竜一先生（内閣官房健康医療戦略推進室健康医療戦略参与、2025大阪・関西万博大阪府市パビリオン総合プロデューサー、大阪大学大学院 医学系研究科 臨床遺伝子治療学教授）をお招きしました。今回は、コロナ禍におけるアンチエイジング最前線という、大変興味深いテーマとともに、2025年大阪・関西万博におけるREBORNをテーマとした大阪府・市のヘルスケアパビリオンの企画等についてもご紹介いただきます。

本日の学術集会をきっかけとして、参加された皆様の中に新たな時代を切り開く勇気と希望が喚起され、アフターコロナの世界に予定される青写真へアクセスされることを心より祈念いたします。

プログラム

午前の部

10:00 ~ 10:10 開会の辞 学術集会実行委員長 池田啓浩

10:10 ~ 11:05 シンポジウムⅠ：〈コロナ禍におけるTL人間学実践による挑戦〉

座長 東京トータルライフクリニック 長屋直樹
東京トータルライフクリニック 藤 純一郎

- (1) 発熱外来における総合内科の貢献のための「因縁果報ウイズダム」の取り組みと実践 江別市立病院 高橋早織
- (2) アフターコロナに向かう地域医療連携——退院支援の視点から 永寿総合病院 秦 慈実
- (3) 「因縁果報ウイズダム」に基づく臨床研究への挑戦——Covid-19ワクチン接種効果に関する前向き研究 南多摩病院 光永敏哉

11:05 ~ 12:00 シンポジウムⅡ：〈予測・予防医療への挑戦〉

座長 東京都済生会向島病院 村田 透
東京トータルライフクリニック 穴水聡一郎

- (1) 日本における頭痛診療の不十分な現状について——その要因として患者側、医療者側の問題とその啓発について 梅ノ辻クリニック 山田洋司
- (2) 腰痛治療に対する「因縁果報ウイズダム」の有用性について 鹿児島共済会南風病院 古賀哲也
- (3) 肛門疾患専門クリニックにおける、TL人間学に基づく医療実践（第2報） 小村肛門科医院 小村憲一

12:00 ~ 12:10 トータルライフ医療研究会2021年度総会

12:10 ~ 12:45 昼食休憩

分科会

12:45 ~ 14:35 分科会 セッションI II同時進行

セッションI -① 〈TL人間学に基づく精神科医療への挑戦〉

座長

くまがい眼科 熊谷和久
藤枝市立総合病院 福島一成

- (1)「治療抵抗性統合失調症」診療における「因縁果報ウイズダム」の取り組み
八事病院 早川雅美
- (2)TL人間学（魂の学）に基づく「対話の医療」
——重度の精神症状・行動障害を伴った認知症の診療
西岡病院 東中園 聡
- (3)スキーマ療法で改善した、大発作・小発作・精神運動発作・大発作重責状態等の難治性てんかん様の病態を呈した1症例
たまきクリニック 玉置 元
- (4)回復しつつある成人自閉症スペクトラム障害（ASD）の1症例（第4報）
藤枝市立総合病院 福島一成

セッションI -② 〈TL人間学（魂の学）に基づく癒やしの医療を実践する〉

座長

トータルライフ訪問看護ステーションステーション雷門 江川恵子
江別市立病院 高橋早織

- (1)医療者が永遠の生命としての人間観・世界観に基づき、患者の「死」を引き受けて関わることにより、がん終末期患者の治療抵抗性の苦痛が緩和されたと考えられる1例
東京医科歯科大学医学部附属病院 東中園真也
- (2)カオス発想術とTL人間学（魂の学）に基づく「対話の医療」によって在宅療養が可能となり、在宅で看取ることができた胃がん終末期の1症例
島根大学医学部附属病院 松田真一郎
- (3)TL人間学（魂の学）を基とする「対話の医療」によって癒やされた、92歳の開放隅角緑内障・術後10年目に起きた濾過胞感染による両眼失明の1例
細木眼科 細木敬三
- (4)「因縁果報ウイズダム」に基づく協働で救済できた、糖尿病性末期腎不全に合併した閉塞性動脈硬化症の1例
まつおTCクリニック 真栄城修二

セッションⅡ-①〈TL人間学（魂の学）に基づく実践が開く新たな医療の可能性Ⅰ〉

座長

東京都済生会向島病院 井上 清
紺井医院 紺井一郎

(1) 新型コロナ禍の中、カオス発想術に基づく

ウイズダム実践による新しいクリニック診療体制への挑戦

うめした内科 梅下滋人

(2) TL人間学（魂の学）に基づくウイズダム実践による

新歯科医院開設の歩み

——新型コロナウイルス感染症の拡大の中での挑戦

阿蘇きずな歯科医院 我那覇生純

(3) 第三者医業承継を体験して

阿久比クリニック 桐生宏司

(4) 人間を魂とみる小児在宅医療の挑戦

——18トリソミーのAくんとの出会いを通して

医療法人財団はるたか会訪問看護ステーションそら 山岸康幸

セッションⅡ-②〈TL人間学（魂の学）に基づく挑戦が開く新たな医療の可能性Ⅱ〉

座長

東京トータルライフクリニック 大脇千代美
東京トータルライフクリニック名古屋分院 井口清吾

(1) TL人間学（魂の学）に基づく因（心）の転換によって

道がついた、子宮頸がん予防ワクチン普及啓発活動

岡山中央病院 金重恵美子

(2) インターネット環境を利用した

TL人間学（魂の学）に基づく対話実践の試み

吉野内科・神経内科医院 三島修一

(3) 「因縁果報ウイズダム」に取り組むことによる

腰痛治療専門センター開設と運営の実践（第2報）

鹿児島共済会南風病院 古賀公明

(4) 「人をつなぐ医療実践」30年の歩み

富士市立中央病院 笠井健司

午後の部

14:35 ~ 15:35

特別講演

座長 中川の郷療育センター 許斐博史

コロナ禍でのアンチエイジング最前線；2025大阪・関西万博に向けて

大阪大学大学院 医学系研究科 臨床遺伝子治療学 森下竜一

15:35 ~ 16:30

シンポジウムⅢ：〈魂主義が開く新たな医療・教育〉

座長

中川の郷療育センター 許斐博史
永寿総合病院 池田啓浩

(1) TL人間学（魂の学）を基とした教育実践によって、
自閉症スペクトラム障害（ASD）児童の著明な成長と
教育者の深化が同時に起こった1事例

TL教育研究会 田中園子

(2) 内的気づきによって劇的改善をみた血管炎症候群の1例

永寿総合病院 池田啓浩

(3) TL人間学（魂の学）を基とした分野を超えた協働による
問題解決の1例——医療的ケア児の見守りの評価基準確立と
医療的ケア児支援法成立の背景

株式会社小林製作所 小林靖典
医療法人財団はるたか会 前田浩利

16:30 ~ 17:25

シンポジウムⅣ：〈TL人間学（魂の学）に基づく地域包括ケアへの挑戦〉

座長

富士市立中央病院 笠井健司
東京トータルライフクリニック 千葉宙門

(1) 多職種での「因縁果報ウイズダム」の取組みによって、
周囲との関わりが困難だった親子を
最期まで支えることができた1事例

トータルライフ訪問看護ステーション雷門 菊地里沙

(2) 人間を魂とみる終末期・小児在宅医療の持つ癒やしの力と
私たちへのメッセージ

医療法人財団はるたか会 的場千賀子

(3) TL人間学（魂の学）に基づく「因縁果報」による対話実践が
認知症の自己決定を促進した事例
——在宅相談窓口の実践から（第2報）

ウェルビーイング21居宅介護支援事業所 山田理恵子

17:25 ~ 17:30

閉会の辞